

平 幡 八 報 会

編集・発行

一般社団法人八幡平市観光協会

責任者

会長 田村正彦

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

会長職も2年目になり、今年度は全ての事業に参加させていただきまして、観光振興事業の重要性を改めて感じているところです。

令和4年は八幡平山賊まつりがコロナ禍前と同様の3日間開催、八幡平紅葉まつりも盛況のうちに開催され、延べ約2万人の参加者が秋の八幡平を満喫し、観光客の動きも活発化しているものと確信しております。

令和5年と年も改まり、コロナ禍は依然収まったとはいえない状況ですが、コロナと伴に新たな観光振興の取り組みを模索していく年であると感じております。

国内を見れば全国旅行支援の再開、国外を見ればインバウンドの開放など明るい話題も増え、令和5年は希望が見えて来ております。

会員の皆様方にも新しい生活様式や感染予防を徹底し、お互いに知恵を出し合いながら良い方向へと進め、観光誘客が増えるよう切に願っております。

八幡平市の各種事業につきましても、コロナ禍前とまではいえませんが、様々な対策を講じ、多くの観光客が八幡平市を訪れるよう、関係機関と連携し観光振興を推進していきたいと思っております。

今年度の事業として八幡平・安比ゆきフェスティバルを残すのみとなりますが、当市の冬の観光のメインとなるスキー客の増加に大いに期待するものであります。

最後になりますが、会員の皆様のご健康、ご多幸、発展を祈念申しあげ新年の挨拶とさせていただきます。



八幡平ゆきフェスティバル開催

冬の八幡平を楽しんでいただくイベントとして、2月4日(土)～2月28日(火)の期間、「八幡平・安比ゆきフェスティバル」が八幡平市観光イベント実行委員会主催で開催中です。

今年も、宿に泊まってお得にスキー楽しんでいただける「スキー場共通リフトパック」、宿泊施設宿泊者限定で買い物、食事、温泉入浴、体験などで割引特典が受けられる「湯けむりトクトクバッジ」、市内飲食店での「雪だるまフード」、冬の八幡平市内を巡っていただく内容で展開されています。会員の皆様も、ぜひ期間限定のかわいい雪だるまフードを食べてみませんか。どうぞお出かけください。

参加店舗の皆様にはイベントの盛り上げにご協力いただきお礼申し上げます。参加店舗にはすでにチラシをお送りしておりますが、引き続き、期間中のチラシの配置等よろしく願いいたします。





日本一早いさくら祭り「名護さくらまつり」へ

1月28日(土)～29日(日)に、八幡平市友好都市 沖縄県名護市において「第60回名護さくら祭り」が行われ、佐々木八幡平市長、工藤八幡平市議会議長、高橋商工会長、当協会田村会長、中軽米事務局長など7名が第49代名護さくらの女王祝賀会、名護市長主催の友好都市歓迎交流会等関連行事に出席しました。



名護さくらまつりはコロナ禍で中止・延期があり、現地訪問は3年振りにとなりました。さくらまつり会場の名護城(なんぐすく)一帯の公園は濃いピンク色の花びらを持つ琉球寒緋桜が咲き、特設ステージでの催しのほかパレードや路上ライブ、物産販売などが行われました。まつり期間中の大寒波の影響は沖縄にまで及び、気温10度の寒さとなりましたが、八幡平市商工会、八幡平市物産振興会が会場内で市特産品のPRを行ったほか、八幡平さくらさんさ愛好会がパレードに参加し、八幡平市一行はさくらまつりを盛り上げ、名護の皆さんとの交流を深めました。



白銀のコースを駆け抜ける～犬ぞりレース開催

犬ぞりレースの「マッシャーズチャンピオンシップ in 岩手山」が1月28日(土)、29日(日)の両日、八幡平市松尾寄木第一地割付近の特設会場で行われました。

犬ぞりレースは、犬にそりをひかせて走るレースで、北アメリカやロシア、ヨーロッパなどの北極地方で人気のあるウィンタースポーツの一つです。この大会は平成13年から同会場で行われており、今年は全国から約100チームがエントリーし、マッシャー(操縦者)の乗ったそりを1頭引き～7頭引き、300m～10kmの距離でタイムを競いました。



当協会では同実行委員会からの依頼により大会開始当時から備品手配や、当日のボランティアスタッフの確保、進行補助などの運営協力を行っています。



みんなで応援しましょう！(観戦される方へ)

2月18日(土)～20日(月)まで、安比高原スキー場へはJ R花輪線安比高原駅発着に合わせてシャトルバスが運行されます。クロスカントリー会場へは八幡平市役所などからシャトルバスが運行されるほか、JR花輪線田山駅、高速バスみちのく号田山パーキングエリア降車でも循環バスが利用できます。詳しくは八幡平市のホームページをご覧ください。

沿岸交流～音楽と八幡平の花に触れて～

1月30日(月)～31日(火)にかけて、宮古市・山田町から41名が参加して、今年度3回目の交流事業を開催しました。

初日には岩手県民の森フォレストアイで開催中の高寺史郎氏写真展「東北の山と湿原」の見学後、松尾中学校において二年生と一緒に約1時間、重厚で低音の余韻が残るチェロの響きを堪能しました。チェロ体験コーナーもあり、初めてチェロに触れ、山口さんと合奏をした男性は「わくわくした。」と明るい笑顔を見せました。

演奏者の山口奏(かな)さんは、滝沢市出身で現在チェコに留学中、1月27日には県公会堂で一時帰国リサイタルを行っている方です。

今回の演奏は、12月30日付け岩手日報に10年継続している松野小学校との沿岸交流の記事が掲載され、当時の山口元校長先生から観光協会担当者に激励の電話を頂いたことから。娘さんが海外留学中のチェリストであるという話題から交流会でのチェロ披露に至り、忙しいスケジュールの中、沿岸の皆さんと中学生との交流という形で実現しました。

2日目には八幡平マウンテンホテルガイドステーションで登山ガイドの杉田さん(当協会理事)から八幡平のグリーンシーズンについて写真を見ながら解説を受けました。ガイドならではの興味深いエピソード等に引き込まれ、「雪が解けたら八幡平に行ってみたい、花を見てみたい」と会場は楽しい雰囲気に包まれました。

参加者は八幡平温泉郷のペンションで源泉かけ流しの温泉と友人たちのおしゃべりを楽しみ、八幡平市での思い出を重ねた様子です。交流会を契機に度々八幡平市に旅行に訪れている方々も増えており、復興道路の完成による移動時間短縮とともに沿岸の皆さんとの距離が近くなっているよう感じます。



フォレストアイ写真展



フォレストアイ売店



物産館あすびーて



サラダファーム

おめでとうございます

令和4年秋の褒章において会員3名の方が受章されています。
心からお祝い申し上げます。

旭日中綬章 田村 正彦さん
緑綬褒章 中軽米 こう子さん
黄綬褒章 八幡 富士男さん

3名のご功績は、
八幡平市広報紙「広報はちまんたい12月号」
に掲載されています。



春のイベント情報を集めています

来る4月15日(土)午前10時に八幡平アスピーテラインが開通し、八幡平春の観光が幕開けとなります。

当協会では「八幡平スプリングフェスティバル」として市内の桜スポット、山開き情報、八幡平ドラゴンアイ情報、市内イベント情報など、春の八幡平情報をチラシ、新聞などで周知・PRを予定しております。下記の内容で情報がありましたら、3月13日(月)までに事務局までお知らせ願います。費用は掛かりません。

★期間：4月中旬から6月までに行われるもの

★内容

- ①観光施設・販売所・飲食店等の
企画、イベントなど
- ②(冬季休業)産直施設の
オープン予定日 など

(昨年情報を頂いている施設には個別に記入用紙をお届けします。)



↑ 2022年チラシ中面

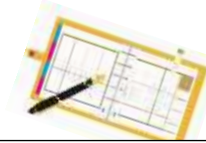
八幡平山頂レストハウス季節従業員を募集しています。

- ◆雇用期間：令和5年4月上旬～11月上旬
- ◆業務内容：売店・食堂・施設管理等
- ◆勤務条件：賃金/日給 7,200 円～ 勤務時間/午前 8 時 15 分～午後 5 時 15 分
交通費/2 km以上支給 その他/社会保険、雇用保険加入



これからの主な会議予定

- ・令和5年3月3日 正副会長会議
- ・令和5年3月16日 事業委員会
- ・令和5年3月20日 総務委員会
- ・令和5年3月24日 第4回理事会



各会議関係者の方々は日程確保をお願いいたします。
案内は後日送付となります。

あとがき：10年に一度という最強寒波に襲われました。1月平均気温14度の温かい名護市に出かけたはずの八幡平市一行は、予想外の寒さに震えたそうです。我が家でも水道管の破裂による「小川」ができました。水道屋に連絡しましたが、国体選手の宿泊施設でのトラブルが先で後回しとなると。結果的に主水栓を止めて必要最小限の水で生活中。国内には未だ断水継続中の地域もある中、トルコ大地震のニュースも心が痛みます。ただ流れていく水が「もったいない」、そんな思いで少しの不自由さを選択し、工夫して水を使いながら、蛇口から流れる水、暖房、明かり、食料があることが当たり前の毎日に布石を打ち、有事に備える心構えを思い出しています。(早く治してほしいのは本音) (S)